

古代の松浦地方

大化の改新により全国に国郡里の行政区画が設置され、各国に国司を任命し、国司は国衙でその国を統治していました。国衙がある所を国府（現在の県庁にあたる）と呼んでいます。肥前国の国府は佐賀市大和町久池井にありました。国府には守・介・掾などの役職があり、国の下には郡、郡の下に郷、郷の下に里の行政単位が置かれ、里は50戸をもつて一里とするものでありました。松浦郡には郷が11、里が26と『肥前国風土記』にあります。松浦郡の郷には庇羅・大沼・値嘉・生佐・久利などがあり、庇羅郷は現在の平戸島、値嘉郷は五島列島のことです。

古代において馬や牛は、駄馬・伝馬・兵馬・役牛などに必要なものであったため、全国各地に官営の牧が置かれていました。『肥前国風土記』にも値嘉郷に、『延喜式』にも、肥前国に6箇所の官営牧場があり、庇羅馬牧（平戸）・生属馬牧（生月）などがありました。『国牛十図』（鎌倉末期の牛の図説）によると肥前国の「御厨牛」というものを優れた牛としてあげています。松浦・平戸・五島列島を含んだ宇野御厨の特産品としてこの牛をあげており、角が長く、骨太く、皮が厚く大牛であるとして天下に名牛として知られていたようです。今日もこの地方は牧畜が盛んであるのは、このような歴史的背景によるものです。



▶ 今年の肉用牛共進会の様子

ジェシカ先生 (アメリカ出身)



Summer Holidays 夏休み

9月に10日間程、両親に会うためにアメリカへ帰りました。しかし、ホームタウンのネブラスカ州オマハには行かずに、両親が滞在していたフロリダ州のパナシティビーチのコンドミニウムに行きました。ハリケーンが通過した直後に到着したのでビーチでは波はまだ高く、最初の2日間は泳ぐことができませんでした。その後は毎日のように泳ぎに行きました。

フロリダ滞在中はたくさんのおいしいものを食べました。最初の夜は、母が私の世界一好きな食べ物でもあるルーマニアの伝統料理を作ってくれました。これはカリフラワー、卵、チーズ、そしてトッピングにサワークリームを乗せて焼いたものです。そのほか、メキシコ料理を食べたり、ビアガーデンでドイツビールと一緒にドイツ料理を食べたりしました。また、休暇中は、学校に着ていく服や靴を買ったり、自分用のアクセサリを買ったりしました。パナシティにはいろんなお店がそろっていて、たくさんお金を使ってしまうので、次に行くときは、クレジットカードは持っていない方がいいかなあ、と思っています。

両親と会ったのは、昨年12月以来でした。今年も12月に両親に会いにオマハへ帰れそうです。来年は両親が日本に来てくれることを願っています。その時は私の住んでいるところを見せたり、松浦の皆さんに紹介したりしたいです。



▲父と一緒に。